

2021年9月19日（日）メッセージアウトライン 「光の父の子どもとして」

聖書箇所：ヤコブの手紙1：16～27

タイトル：「光の父の子どもとして」

テーマ：この中で子どもが与えられている方々も多くおられると思いますが、その方は子どもに何を与えてあげたいと思っておられるでしょうか。少なくとも、親としては出来る限り良きものを与えたいとお考えでしょう。私もそう考えて子育てをしてきました。本日は「敬老の日」です。教会では熟年感謝礼拝ということになっていますが、私も立派に熟年の域に入っております。振り返ってみれば、私の両親も子どもたちに良きものを与えたいと、心を込めて育ててくれたと感謝しています。でも、人間は不完全でありますから、良きものと考えてもそれで本当に良かったかどうかはわかりません。

今日は、「すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものであり、光を造られた父から下って来るのです。」というみ言葉を中心に、イエス様を信じた者はこの光を造られたお方が、今や私たちの父であられることを自覚して、光の父の子どもらしく歩む秘訣を4つのポイントでヤコブが語っていますので、学びたいと思います。

長い人生を過ごした者も、人生これからだという方々も光の父の子どもであることを深く自覚して歩ませていただきたいと願うばかりです。

### 1. 良きものは神から来る（1：17）

「すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものであり、光を造られた父から下って来るのです。」（1：17a）

- ①良い贈り物
- ②すべての完全な贈り物

### 2. 光を造られた父

「父には、移り変わりや、天体の運行によって生じる影のようなものはありません。」（1：17b）

- ①ご性質とのみわざ
- ②被造物の初穂とは何？

### 3. 真理の言葉をもって生んでいただいた者の歩み（1：18）

- ①神の言葉を聞く（1：19～20）
- ②神の言葉を受け入れる（1：21）
- ③み言葉を行う人になりなさい（1：22～25）

\*みことばを聞いても行わない人（1：22，23）

\*みことばを聞いて行う人（1：26）

④「みことばを行う」具体例として

\*むなしい宗教

\*汚れのない宗教

#### 4. 結論

①光の父の子どもとして生きた人、アブラハムの生き方（創世記12：1～4）

②年老いても若くてもイエス様を信じる者は、光を造られた父が真理の言葉をもって  
生んでくださった者